

無理をすするな 素直であれ

種田山頭火

裏面もご覧下さい。

いのち
生命の言葉
二月

すべてがこの語句に尽きる、
この心構えさえ失わなければ、
人は人として十分に生きて
ゆける、と続く。

出典『道中記』

種田山頭火 (たねださんとうか)

一八八二〜一九四〇年。明治〜昭和初期の俳人で、自由律俳句の著名な一人。本名、種田正一。後に出家して耕畝と改名する。俳句誌『層雲』で頭角を現し、俳句の投稿を続ける一方で私生活は破産・離婚など波乱に満ちていた。また托鉢僧として度々拠点を移動する流浪の生活を送った。

*
臘梅の匂い豊かなこの季節ご参拝の皆さまに「幸多かれ」と祈ります

*ろうばい

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



伊勢神宮に
参拝しましょう